

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果分析
 [教科(国語、数学、理科)に関わる内容] 札幌市立新川西中学校

【中学校 国語】

	本校の概要	課 題	改善の方向
中 学 校 国 語	【領域】		
	「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ▼全国平均に比べ、下回っている。	●事象や行為を表す語句について、理解していること。	○新しく出会った言葉について調べたことを記録したり、その語句を話や文章の中で使ったりする学習活動の充実。
	「話すこと・聞くこと」 ▼全国平均に比べ、下回っている。	●資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。	○伝える相手の反応を踏まえ、伝えたい内容を分かりやすく伝えるための表現を工夫する学習活動の充実。
	「書くこと」 ▼全国平均に比べ、下回っている。	●自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと。	○様々な課題に対する自分の考えを検討し、それを実際に文章として書き上げる学習活動の充実。その際、自分の考えの根拠となることを明示して書くことを意識することが大切。
	「読むこと」 ▼全国平均に比べ、下回っている。	●表現の効果について、根拠を明確にして考えること。	○表現の効果について、自分の考えを支える根拠を挙げながら自分の考えを書いたり、発表したりする学習活動の充実。

※記号の意味 (△) 全国平均より+3ポイント以上の項目 (◇) 全国平均より+3～0ポイントの項目
 (▼) 全国平均より-3ポイント以下の項目 (◆) 全国平均より0～-3ポイントの項目

※「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲内。

【中学校 数学】

本校の概要		課 題	改善の方向
中 学 校 数 学	【領域】		
	「数と式」 ▼全国平均に比べ、下回っている。	●目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明すること。	○文字を用いた式を活用して、数量や数量の関係を簡潔、明瞭で一般的に表現し、処理する学習活動の充実。その際、処理することによって得た結果を問題に即して解釈することができるようにすることが大切。
	「図 形」 ▼全国平均に比べ、下回っている。	●統合的・発展的に考え、条件を変えた場合について証明を見直し、改善すること。	○一度証明したことをもとにして、条件を変えた場合の証明を考察する学習活動の充実。その際、条件が変化しても変わらない関係、変わる関係を見だし、もとの証明を改善して条件が変化した場合の証明ができるようにすることが大切。
	「関 数」 ▼全国平均に比べ、下回っている。	●事象に即して、グラフから必要な情報を読み取るとともに、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に解釈すること。	○基本的なグラフの読み取りを理解した上で、日常生活や社会の事象を考察する場面を設定し、事象を理想化したり、単純化したりして、取り出した二つの数量の関係を関数とみなし、課題を解決する学習活動の充実。
	「データの活用」 ▼全国平均に比べ、下回っている。	●相対度数の意味を理解すること。	○データ活用の基礎事項である相対度数の必要性和意味について理解できるよう、階級における度数の、総度数に対する割合を求めて比較する学習活動の充実。

※記号の意味 (△) 全国平均より+3ポイント以上の項目 (◇) 全国平均より+3～0ポイントの項目
(▼) 全国平均より-3ポイント以下の項目 (◆) 全国平均より0～-3ポイントの項目

※「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲内。

【中学校 理科】

課 題

改善の方向

【領域】

●「エネルギー」を柱とする領域

電熱線で水を温める学習場面において、回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識および技能を身につけること。

●「粒子」を柱とする領域

身のまわりの科学的な事象から生じた疑問や、見いだした問題を解決するため、適切な課題設定をすること。

●「生命」を柱とする領域

水の中の生物を観察し、呼吸する生物について考えることで、生命を維持するはたらきについての知識を身につけること。

●「地球」を柱とする領域

気圧について科学的に探究する学習場面において、状態変化や圧力に関する知識・技能を生かし、予想が反映された振り返りを行うために探究の過程の見通しについて分析し解釈すること。

○直列回路と並列回路における、回路全体の電気抵抗と、発熱量についての知識を身につける学習活動の充実。その際、生徒の興味・関心が高まるよう、生徒にとって身近な生活と関連づけるように工夫することが大切。

○身のまわりの事象から生じた疑問や見いだした課題を解決できるかどうかに目を向け、科学的な探究課題を自分の言葉で表現する学習活動の充実。

○観察した水の中で生活する生物について、呼吸を行うかどうか等、これまでの理科の学習で得たことを生かして、生命を維持するために必要なはたらきを説明する学習活動の充実。

○自分の考えの変容に着目しながら振り返る場面を設定する等、課題に対して見通しをもって科学的に探究を進めることの大切さを理解する学習活動の充実。その際、探究の過程において自分の考えを表現し、多様な視点から振り返るよう促していくことが大切。

※理科については、公開問題の領域に偏りがあるため、本校が「課題」と捉える問題を抽出し、それらに対応する「改善の方向」を示している。

【生徒質問調査（生活習慣・学習習慣に関する質問）】

肯定的な回答の割合が高い質問（全国平均比）

- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
- ・人が困っているときは、進んで助けていますか
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
- ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか
- ・あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（一般の雑誌、新聞、教科書は除く）
- ・あなたは自分がＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。
- ・国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれますか
- ・理科の勉強は得意ですか
- ・理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか

肯定的な回答の割合が低い質問（全国平均比）

- ・毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
- ・毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
- ・将来の夢や目標を持っていますか
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
- ・分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか
- ・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
- ・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、ＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）
- ・１，２年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立て等を工夫して発表していましたか

【生徒の現状と課題・改善の方向】

本調査の結果を、本校の学校教育目標《目指す生徒像》に照らしますと、「２．広い豊かな心の生徒（情）」については、達成できている生徒が多い反面、「１．自ら学ぶ意欲のある生徒（知）」、「３．たくましく生きぬく生徒（体・意）」については、課題のある生徒が多い現状にあると分析できます。

この課題を改善するためには、家庭において、規則正しい生活を送る等、さらなる基本的な生活習慣の確立を図るとともに、学校では、個に応じたきめ細やかな学習支援を行うなどして、まずは、基礎的な知識・技能の習得を図り、その成功体験を下に、主体的に学ぼうとする意欲を高めていくことが必要だと考えます。

そのためには、家庭と学校、地域が子どもを中心に据え、共に信頼し、連携して日常の取組を進めていくことが大切です。引き続き、本校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いします。